



# 障害者福祉に係る研修事業 ～リハビリテーション講座～

尼崎市肢体障害者福祉協会

# 障害者福祉に係る研修事業 ～リハビリテーション講座～

## 尼崎市肢体障害者福祉協会とは

【設立】 昭和26年4月

【会員数】 150人

【目的】 尼崎市の肢体障害者が融和協力して総合  
扶助による福祉増進を計る事を目的とする。

【事業】 ○文化・スポーツ事業 ○研修事業  
○広報事業 ○市内障害者団体との緩やかな連携

# 障害者福祉に係る研修事業 ～リハビリテーション講座～

## 【実施目的】

リハビリテーションは障害者だけでなく、高齢者や障害のない方でも大変重要となっている。しかし、リハビリという言葉聞いたことはあるが具体的に何をするのかわからないという方も多いのではないのでしょうか。リハビリテーションとは何か、その重要性、どのような種類があるのか、その基本について共に学び、今後の身体機能の維持、回復の一助としたい。

# 障害者福祉に係る研修事業 ～リハビリテーション講座～

- 【日程】 令和6年11月8日(金)
- 【場所】 尼崎市身体障害者福祉会館 大ホール
- 【内容】 リハビリテーションの専門家である理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)よりそれぞれが施術されるリハビリの違いとその効果等について講演いただき、その後、質疑をおこなう。
- 【広報】 公共施設・関係団体へのポスターの掲示の依頼、チラシの配布など。
- 【対象者】 肢体障害者、一般市民 など
- 【参加者数】 35人  
(肢体障害者19人、一般市民など16人)

# 障害者福祉に係る研修事業 ～リハビリテーション講座～



研修の様子



# 障害者福祉に係る研修事業 ～リハビリテーション講座～

## 【効果】

今回の研修会には障害当事者だけでなく、一般市民、地域包括センターや事業所等支援者の皆さんにも参加いただいた。講師が実際に現場でリハビリをされている専門職の方であるので、講演後の質疑では、「どうすれば、リハビリを受けられるのか?」「自分の体では、今後どのようにリハビリを受ければよいのか?」「どこに行けば、言語聴覚士のリハビリを受けられるか?」等具体的な質疑が行われ、予定時間を超えての実施となった。終了後のアンケートには、「リハビリの実際がわかってよかった。」「リハビリは障害者や高齢者だけでなく誰にでも必要なんだ!」とありました。障害者、一般市民がリハビリというテーマを共に学ぶことにより、障害者への理解も少し深まったと考えられます。